

二〇一五年度早稲田大学史学会大会報告

〇二〇一五年度早稲田大学史学会大会

(期日…十月三日(土) 早稲田大学文学学術院校舎)

▽部会報告

〔日本史部会〕

享保改革期の疫病対策

学部学生 萱田 寛也

新聞号外の史料的价值と利用法につき

―日露戦期の都市社会との関係を中心に―

大学院学生 岸本 亜季

中世後期における荘官層と荘園領主の関係

―播磨国矢野荘田所、本位田家盛に注目して―

大学院学生 赤松 秀亮

徳川將軍明君像の形成

―「甲子夜話」にみる吉宗明君像と後代への継承―

本学非常勤講師 椿田有希子

〔東洋史部会〕

清朝昭忠祠試論

大学院学生 鈴木 展之

南越の嶺南支配と珠崖放棄

大学院学生 川手 翔生

先塋碑からみる十二―十四世紀華北の「宗族」定義

早稲田大学高等研究所招聘研究員 飯山 知保

〔西洋史部会〕

王権―地方領主関係とシチリア王国の港湾管理(一二六六―一二八二)

―シャルル・ダンジュー治下のシチリア島とプーリアを比較して―

大学院学生 高橋 謙公

南ティロールにおけるパトリオティズム 大学院学生 星野 友里

戦後ドイツにおけるナチ医学の被害者に対する差別と抑圧

―『安楽死』および強制断種被害者の会』の歴史と活動を通して―

大学院学生 紀 愛子

〔考古学部会〕

東日本における後期旧石器時代前半期石刃石器群の展開

大学院学生 渡辺 玲

縄文時代後期前葉の地域性について

―堀之内2式期の成立と関東西部― 大学院学生 山崎 太郎

エジプト先王朝時代における生活様式について

大学院学生 山崎美奈子

古代エジプト、テーベ・ネクロポリスにおける岩窟墓の